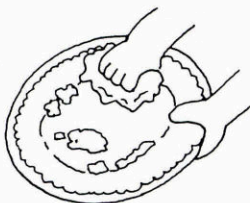


美しい川を残すため

台所で できること

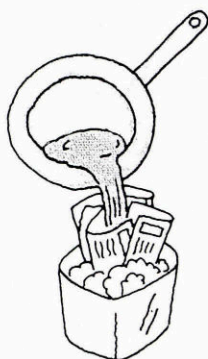
○食器やなべなどの汚れは、紙やへらでふきとってから洗いましょう。

○流しから調理くずや食べ残しなどを流さないようにしまししょう。

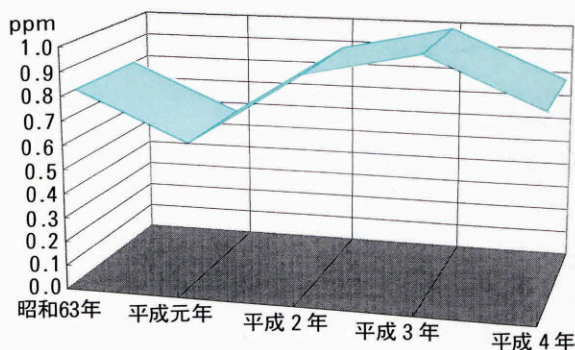


○目の細かい「コーナー」や水切り袋などでうけましょう。特に「使用済ストックング」を利用すれば少しの手間で資源の再利用になります。

○食用油は、使いきるようにし、それでも残ったものは、紙や布にしみこませて処分しましょう。流しから捨てるのは絶対にやめましょう。

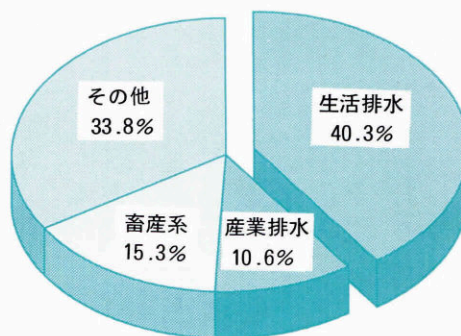


掛測川のBOD平均値経年変化



BODの値が大きいほど、汚れがひどい。
山口県環境基準は2.0ppm以下。資料：掛測川水系生活排水浄化対策協議会設立総会資料より

掛測川の汚れ原因



汚れの原因の多くが生活排水であることがわかる。
今後の各家庭での排水対策が重要となる。
資料：同上

「掛測川水系生活排水 浄化対策協議会」が発足

山口県には、各地に生活排水の浄化を推進する実践活動地域が設置されており、大きな成果をあげています。

油谷町と日置町にまたがる掛測川水系にも、生活排水浄化対策協議会が、去る七月十五日に発足しました。

この協議会は、山口県・油谷町・日置町で構成され、掛測川水系流域の生活排水処理施設の整備や普及啓発などの生活排水浄化対策を総合的かつ組織的に実施することによって、この流域の水質を守り、快適な生活環境を維持向上させることが目的

現在、私たちの快適な暮らしには、下水道や合併処理浄化槽は大変重要な要素となってきました。

ところが、先月の水の特集でもふれましたが、油谷町は現在でも水源の水量が不十分な状況にあります。この上、下水道や合併浄化槽などが増えると生活用水が不足する恐

れが出てきます。

下水道や合併処理浄化槽は？

すが、親と子の水辺の教室の開催やチラシの配布、立看板の設置など地域ぐるみで川を守る運動を展開することになっています。

具体的には、親と子の水辺の教室の開催やチラシの配布、立看板の設置など地域ぐるみで川を守る運動を展開することになっています。



▲ 7月15日油谷町役場で行われた
同協議会設立総会

したがって、代替水源の目途がたつまでは、これらの事業に着手できないというのが現在の状況です。とはいえ、水源対策はもとより、下水道整備計画の策定と下水道整備区域外における合併処理浄化槽の推進について、早急に検討することになっています。